

一般向け

縄文土器づくり教室

富士見市内の遺跡から出土した縄文土器をモデルに、粘土こね・製作・焼成までの一連の土器づくりの作業を通し、縄文人の技術を4回シリーズで学ぶものです。参加者は21人。製作には富士見市資料館友の会土器づくり部会の協力を得ました。

2016年



事前学習・粘土こね

土器づくりには良質な粘土は不可欠。まず粘土に砂を混ぜて素地づくりから。

えっ、水を何グラムでしたか？

さあ、素地づくり スタート！



自然の粘土:砂の割合を 10:3 に

こねくりまわすよ〜



粘土と砂を混ぜてよく練ります。粘土の中の空気が押し出されて焼いた時にわれにくくなります。

土器の成形



底は薄からず、厚からず
ですよお〜



平らにつぶしておせんべいのような丸い形の土器の底をつくります。



同じ太さで、このように
積み上げます。



同じ太さの粘土ヒモを作りいよいよ積み上げ開始です。同じ太さでないと、土器の厚さが一定せず割れやすくなります。



くびれの部分が
難しいです！



せい~の！

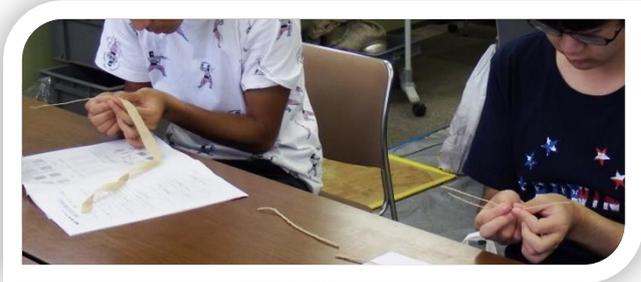
粘土ヒモをていねいに積み
上げて、ほろっこの通り
♪





土器を飾る・みがく

粘土ヒモを貼り付けて、隆帯(りゅうたい)という文様をつきたいのですが、これが、なかなか……。



縄文原体づくり



縄文原体づくり



貝殻などで、内側をみがきます。これをしないと水がもれちゃいます。



篠竹で線を入れると深すぎると突き出すっちゃうんですヨ！ 気をつけまじゅう。

土器を焼く



うまくできたよね！
スバラシイ！



まず、空だきをして、土器を乾燥させるため周りにおきましょう



空だきがおわったら、いよいよ焼く土器を並べますヨ



薪を積み上げて、ガンガン燃やします

わたしは 縄文十ベ 担当ヨ♪



焼きたてのほっかほか！



ステキにできた～❤️